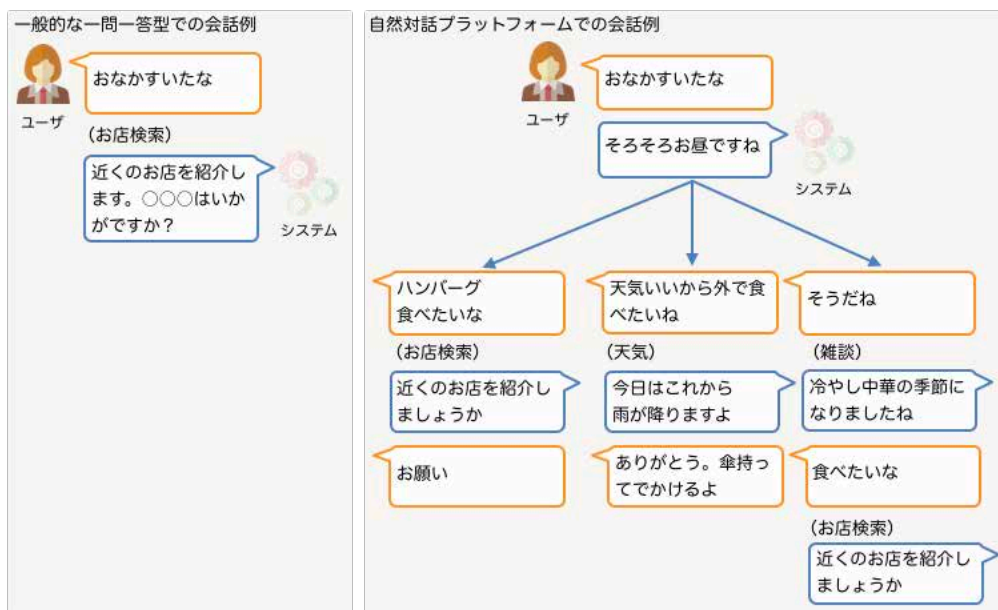


## 対話型AIサービス開発環境を提供開始 ～「自然対話プラットフォーム」の記述言語仕様と開発環境を公開～

株式会社NTTドコモ（以下、ドコモ）は、対話型AIサービスのプラットフォームである「自然対話プラットフォーム※<sup>1</sup>」（以下、本プラットフォーム）の記述言語仕様と開発環境を、教育研究機関や対話システムの導入を検討されている企業による非商用利用に限定し、2018年7月18日（水）から無料で公開いたします。

本プラットフォームの公開により、教育研究機関などで、高度なプログラミングなどの知識がなくても会話を楽しむロボットやアプリケーション作りができるようになります。現在の対話型AIサービスの主流は、一問一答型の会話を大量に作成するか、機械学習させることで会話を成立させています。本プラットフォームは言語解析技術に基づいた自然な対話を実現できるので、問いかけた言葉と返答をもとに次の質問をしたり、会話の意図を理解した上で外部サービスにつなげたりすることで、ストーリー性のある会話を楽しむことができます。



本プラットフォームは、ドコモが2018年5月30日から提供しているAIエージェントサービス「my daiz™(マイデイズ)」のほか、法人向けサービス「自然対話エンジン※<sup>2</sup>」を利用した株式会社講談社のコミュニケーション・ロボット「ATOM」やパナソニック株式会社「CLUB Panasonic」のLINE™公式アカウントでの録画機向けサービス、ドコモが開発したAIチャットボット作成サービス「Repl-AI(レプルエーアイ)※<sup>3</sup>」にも採用されています。

ドコモは、これからもお客さまの生活に寄り添える技術開発、サービス開発により、お客さまが対話型AIサービスを身近に取り入れ日常になくてはならない存在になれるよう今後も取り組んでいきます。

※1 「自然対話プラットフォーム」は、NTTグループのAI「corevo<sup>®</sup>」を構成する技術で、人工知能で自然対話を実現するプラットフォームです。


※2 「自然対話エンジン」は、「自然対話プラットフォーム」を活用した対話サービスの法人向けサービス名称です。

※3 「Repl-AI」は、「自然対話プラットフォーム」を活用した、好みのチャットボットを自由に作成することができるチャットボット作成・提供プラットフォームです。

\*「my daiz\マイデイズ」は、株式会社NTTドコモの商標です。

\*コミュニケーション・ロボット「ATOM」は、株式会社手塚プロダクション、株式会社講談社の登録商標です。

\*「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。

\*「corevo」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。( <http://www.ntt.co.jp/corevo/> )  corevo

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ  
サービスイノベーション部 第1サービス開発担当  
TEL:03-5156-2151

## 「自然対話プラットフォーム」記述言語仕様と開発環境公開の概要

### 1. 目的

本サービスは、ドコモが開発した「自然対話プラットフォーム」の記述言語仕様と開発環境を、教育研究機関や対話システムの導入を検討されている企業による非商用利用に限定して公開することで、手軽に対話型のAIサービスを開発できる環境を提供いたします。

### 2. 対象者

非商用で利用されるお客さま

### 3. ご利用条件

非商用に限定しての利用に限る

### 4. 提供開始日

2018年7月18日(水)

### 5. 開発環境のご利用方法

以下のフローに沿ってログインした上で、ご利用ください。

1. 下記にアクセスしてください。

<https://docs.xaiml.docomo-dialog.com>

2. 「SUNABAにログイン」を押下するとログインページに移動します。

3. 「Googleアカウントでログイン」、または、「dアカウントでログイン」を選択します。

4. 選んだアカウントのログイン画面が表示されますので、画面に従ってログインしてください。

5. 利用規約をご確認いただき、内容に同意いただけましたらプロジェクトの作成画面となります。

お好きなプロジェクト名を入力して新規登録してください。

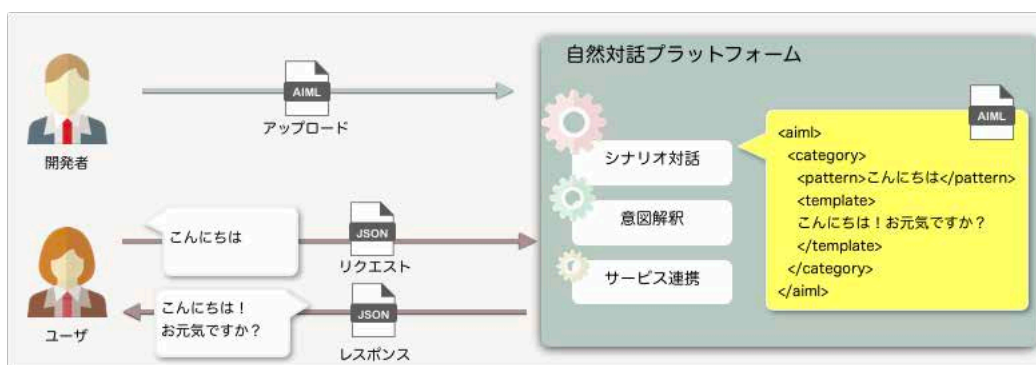
6. ボット作成編集画面が表示されれば、ログイン完了です。

### 6. ご利用料金

無料

### 7. 自然対話プラットフォームの特長

発話者が問いかけた言葉に対して、その言葉の意図を理解した上で回答する対話型AIプラットフォームです。「シナリオ対話」、「意図解釈」、「サービス連携」という3つの機能で構成され、発話者とのストーリー性のある対話シナリオだけでなく、言語解析や意図解釈の結果やサービスとの連携により自由度の高い対話シナリオを作成できます。



### ① 「シナリオ対話」機能

あらかじめ設定されたシナリオによって、発話者とシステムとの対話を実現する機能です。ユーザ発話に返答するシステム発話を用意することで、流れのある対話を実現できます。また、条件分岐や再帰処理を記述したり、言語解析による文章正規化機能により、曖昧性のある表現をまとめて処理したりすることも可能です。

### ② 「意図解釈」機能

曖昧な表現が含まれる発話者からのさまざまな話し言葉の言葉の意図を理解し、機械学習によりデフォルトで定義されているタスク(e. g. 天気、ニュース)に自動的に分類します。また、各タスクに必要な情報(e. g. 場所、日時)の抽出も行えます。

### ③ 「サービス連携」機能

インターネット上の外部サービスと連携することができる機能です。例えば、ドコモが「docomo Developer support<sup>※4</sup>」で公開している「自然対話API<sup>※5</sup>」などと連携することで機能拡張ができます。

※4 「docomo Developer support」は、ドコモやパートナー企業が持つさまざまなアセットを「API」として汎用化して開発者に提供することで新たな事業の創出を推進する協創プラットフォームです。

※5 「自然対話API」は、ドコモが開発している対話サービスAPIです。